

3月11日～3月17日 アイスランド視察

—地球の裂け目(海嶺上の地溝帯ギャオ)とオーロラ—



離陸前に翼に防水液？散布（コペンハーゲン空港からレイキャビクへ移動）

※オーロラ：レベル1～5

レベル1：写真画像で確認できる程度（見える人と見えない人…）

レベル5：“爆発”

…残念ながら初日のレベル1のみ。まれに見る悪天候（強風）でした。

○国土面積：北海道よりやや大きい程度

○人口：32万人。これだけの人数で政治は元より，空港等のインフラを良く管理できるものだと感心…

○首都：レイキャビク（世界最北の首都）

○軍隊なし（NATO加盟）

○土壌が未発達な上，森林伐採や過放牧により砂漠化進行（農地や森林は国土の数%以下）

○未固結地盤がないため，地震の被害は少ない模様。

○その他：物価が高い（日本の数倍），遠く離れた極寒の小さな島国に多国籍の車が走っており，中でもスズキの車が割と多いような…。意外と積雪も少なく日本と変わらない…。工芸品等日本文化の多用性を再認識。

○3月12日



ホフディーハウス

(1987年, レーガン・ゴルバチョフ会談場. 中距離核戦略全廃合意. 右がレーガン)



ハトルグリムスキルキャ教会



モニュメント (玄武岩)



世界共通



スパイクタイヤによる路面の損傷と
歩道の粉塵溜まり



ストロックル公園内のモニュメント

○3月13日



地球の裂け目（ギャオ）

地溝帯幅 10km. その西端に位置するシングヴェトリル国立公園内の裂け目. 左が北米プレート, 右がユーラシアプレート側. 年間数 cm 東西に拡大. 右側の地溝帯内の地盤は沈下. 地殻が誕生するホットスポットとしてはあまりにも穏やかな景色であり...当方の理解が足りないようではあるが...

世界最古の会議が開かれた場所でもあり, 断崖は処刑場所に利用したとのこと.
余りの強風のため, 身の危険を感じた添乗員(女性)が散策中止を申し入れたが, 最大の目的地であり強行を希望. 現地ガイドにも意気を感じ快諾していただいたが, 国旗も掲揚できないほどの珍しい強風日とのことでした.



氷上車：氷河観光用



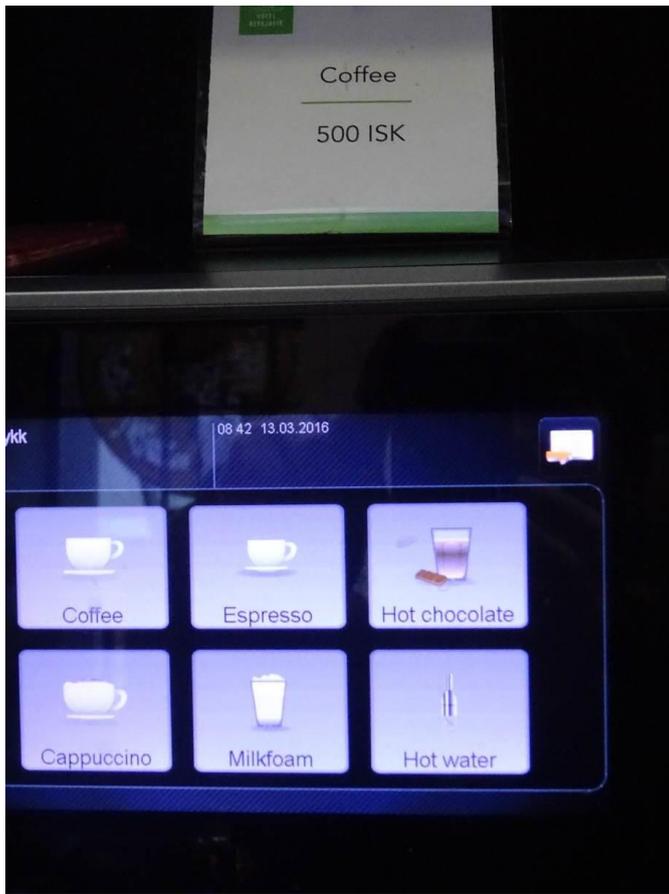
グトルフォスの滝



同上，下流側の滝に魚道を設置



スロツトル間欠泉（“…イッテ Q：出川哲朗”が焼き肉に挑戦した場所）



ホテル内自販のコーヒー500円



すし弁当 (ホテル内売店)

○3月14日

リフォーム工事の足場（ホテル供用中のため、景観に配慮）



シュートによるゴミ搬出

○セリヤランスフォスの滝



はじめて滝の裏に入りました



1F部分が半分程度埋没する家屋が目立ちました。地熱を利用したアイデアかと思いきや理由不明（旧い家に限られるとのこと）



玄武岩の壁

○氾濫原

ほとんど護岸らしきものがなく、豪雨のたびに氾濫を繰り返している模様。森林等の地被物や土壌がない（流出係数大）ことも影響が大きいと思われます。



○スコウガフォスの滝

頂上まで若い人（学生）と競争しました・・・



○アイスランド産. 雪のない時期に馬小屋に帰ることなく, このまま一日を過ごすとのこと. ちなみに立ったままで寝ることもできるようです…。その他, 牛や羊も放牧されています.



○簡易な送電線 (手前は牧場の柵)



- アイスランド馬をみるため、サービスで立ち寄って頂いたのですが…。通りがかりの人が農家に連絡し、トラクターで引き上げていただきました。お礼はらないとのことでしたが、一人の女性が日本から持参したお菓子を差し上げ、ツアー代表として感謝を伝えました。
- ちなみに夕刻であり、地平線からトラクターのヘッドライトが見えたときは、土地の広さを感じました。
- 日本の 1/3 程度の土地に人口 32 万人が住む国。自ずと“助け合いの精神”が育つものとおもわれました。



○落石の実態

いたる所で無数の落石がありましたが、対策と言えば宅地後方斜面の落石防備林（斜面縦断方向に幅 5m 程度）のみでした。

落石は傾斜 20° 程度以下でほとんど停止しており、現在行われている落石運動エネルギーの算出方法もこれに則したものとする必要があるのではないのでしょうか。特に等価摩擦係数 μ (現状 0.05~0.35) はいくつかの研究発表がなされているとおり、もっと大きくするべきでしょう……



○3月15日



大西洋に面した石積みの護岸（溶岩上に構築：左の緑地も溶岩）
・・・日本の土木工事がいかに困難であるかが分かります



シェルトウンの泥地獄とガイドさん（有資格，元教師）



島内を広く覆うアア溶岩（農地として利用できる土地が少ない）



溶岩内部は脆弱・・・

○ブルーラグーン

最大深さ 1.5m 程度. 底はモルタル張り? 地熱発電所 (遠方の湯気) で利用された排水 (温水) に海水を混ぜて温度調整 (所々, 混ざりの悪い箇所がありました.)





地熱発電による暖房設備（ホテル内），快適でした。

○3月16日（帰途オランダ：コペンハーゲン空港）



すしバー（空港内では中国語の案内はありましたが，日本語はなかったような・・・）



長椅子：おそるおそる座ってみましたけど・・・



床板：間伐材（スギ）の利用促進策が浮かびましたが、軟らかくて無理・・・